

ご挨拶

- ①出身地 ②研究内容
- ③趣味 ④好きな言葉



就任のご挨拶：臨床から疫学への道

福岡 真悟 大学院医系科学研究科 医学分野 疫学・疾病制御学 教授

- ①広島県 ②大規模健康医療データを活用した疫学研究、臨床研究、データサイエンス研究による社会の健康課題解決
- ③野球やバスケの試合を見る、音楽を聴くこと ④特別な言葉は持っていません。しかし、色々な言葉に耳を傾けて人生に活かしたいと思います。

令和6年4月1日付けで、田中 純子先生の後任として疫学・疾病制御学の教授に着任いたしました。私は、広島生まれ、広島育ちで、広島大学 医学部を平成14年に卒業し、卒業後は8年間、内科・腎臓内科の臨床医として広島県内で勤務しました。平成22年より京都大学で疫学を学び、平成25年より京都大学の助教、講師、准教授として疫学、臨床研究の人材育成と研究に取り組んできました。この度、13年ぶりに広島大学へ戻ってまいりました。

私の原点は臨床現場で医師として感じた医療の限界でした。超高齢化、人口減少、感染症や災害などの外的要因により、健康を支える仕組みは機能維持が厳しくなっています。大規模データを活用し、その解決策を提示することが、これからの疫学に求められています。自身の経験を母校に還元し、広島、日本、世界で未来の健康を支える疫学研究者を育ててまいります。ご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。



就任のご挨拶

長瀬 健一 大学院医系科学研究科 薬学分野 医薬分子機能科学 教授

- ①埼玉県 ②機能性高分子を用いた医薬品の分離精製・分析技術の開発
- ③サッカー観戦、ドラム演奏 ④それを夢見ることができるならば、あなたはそれを実現できる

2024年4月より、小池 透先生の後任として、広島大学 大学院医系科学研究科 医薬分子機能科学研究室を主宰させていただくことになりました、長瀬 健一です。世界をリードする広島大学で、大変著名な先生の後任をさせていただく機会をいただき、身の引き締まる思いでおります。私の研究では、抗体、細胞、ウイルスベクター、エクソソームなどの次世代医薬品を、機能性高分子を用いて分離精製・分析する技術を開発しております。この技術で、ますます発展していく新規医薬品の研究や開発、製造工程を革新的に発展させることができればという思いで研究に従事して参ります。また、広島大学の一員として、世界を先導する教育・研究を行い、世界で活躍できる優れた人材を育てていきたいと考えております。今後とも、医系科学研究科の先生方の御指導、御鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。